



鳥取大学附属図書館報

巻頭言：「紙本のすすめ」	豊島良太	1
特集 私の選んだこの一冊		
吉村 昭 「光る壁画」(新潮文庫)	田中久隆	2
高橋秀実 『からくり民主主義』(新潮文庫)	中島廣光	3
ショーペンハウアー 『幸福について -人生論-』 橋本文夫 訳	萩原寿郁	5
所蔵資料の紹介		
旧鳥取高等農業学校・学制頒布 50 周年記念図書		7
本学教員著作寄贈図書(最近 3 年受入分)		8
附属図書館利用状況(最近 5 力年)		9
トピックス		11



## 巻頭言

### 「紙本のすすめ」

豊島 良太

現在、鳥取大学には湖山と米子に図書館があります。図書館沿革によれば、湖山の本学図書館は昭和41年に、米子の医学部図書館は昭和46年に完成したそうです。鳥取大学に昭和42年入学の私にとっては、あくまで個人的印象ですが、図書館からの積極的な利用促進の発信などまったくない時代でしたので、ほとんど立ち寄りもせず馴染みは無く、新築の綺麗な建物であったという記憶しか残っていません。では、当時どうして勉強していたかということですが、「大学生は勉強しない」、いや「してはいけない」という時代で、もっと学ぶべき大切なことがあるだろうといった雰囲気でしたので、湖山での教養部時代は試験前に教科書がある場合は教科書を、無い場合はノートを読んでいた程度です。医学専門課程に進んだ米子では、それぞれの科目で内容や値段に差のあるいくつかの教科書があり、後々に見直す可能性の有無すなわち科目としての重要性や試験の難易度、懐具合などを考慮し、購入していました。本は、私などの相当の年齢に至った者にとっては、借りる物ではなく、買って自分の所有にした上で、線を引き書き込みを入れる対象でした。したがって、学生時代の解剖学から臨床各科の教科書そして医師になった後も必要な本は自前で購入していましたので、これらを最近まで所有していました。

図書館の有用性は、大学院での実験や論文を書き上げる過程で知りました。先人の実験方法や結果などは教科書から知ることは不可能で、専門誌を見る必要がありました。沢山並んだ書架から文献を探し出すことは心弾む作業で、順調に求める物に到達できたときの

喜びと満足感は今でも忘れることができません。逆に、文献の引用からさらに古いものを探し出す、俗に言う「孫引き」で巻数や頁などの住所が間違っていたため、求める文献を探し出せないこともあり、しばしば落胆させられました。こうした時には、巻数や頁の近い数字の住所を調べ、何時間も費やしたことを覚えています。ただ、こうした脇道に入り込んだ状況の中で、宝物のような文献を思いがけなく見つけ出すこともありました。これは研究の視界の広がりや視点の多様性に繋がるセレンディピティ

(serendipity, 偶発力と訳されています)の一種と思っています。

ところが、今は世界中のほとんどすべての文献をインターネットで取り出せるようになりました。いくつかのキーワードを入れ込めば、関連論文を正確に漏れなく見つけ出し、それも和訳文まで見ることができるようになりました。そうした利便性は思いがけない喜びをもたらすセレンディピティのチャンスを無くしたばかりでなく、コピーとペーストの繰り返しによる盗作論文を生み出すことになりました。さらには実験をしたがごとくに結果まで捏造する似非研究者が最近出現しましたが、これもそうした安易な利便性が一因ではないかと思えます。話が横道に外れましたが、ICT (information and communication technologies, 情報通信技術) の進歩は、知の宝庫であった図書館をペーパーレスのデジ



タル図書館に変えつつあります。勉学での狭い限定されたテーマの知識を取得するためには、デジタル図書館の利便性を享受することは大いに薦められます。しかし、大きな俯瞰的テーマを理解するためには情報をしっかり消化し深奥まで吟味しなければいけません。また、横断的に読み比べる必要もあるかもしれません。それには、書き込み可能な紙媒体であってこそできることです。紙のアナログ風味があるが故に、情緒深い記憶に残る知識が得られ、深い理解に繋がるものと思います。時には誰かの人為的折れ込みに過去の読者の心を窺い、好奇心が駆られることもあるでしょう。

個人的図書館利用歴から勝手なことを書きましたが、私の後悔の思いから学生時代には

非していただきたいことを書いておきます。

「月に一冊で結構です、紙の本を読みましよう、読みや意味の分からない言葉は必ず辞書を引きましょう。」これを1年続けてください。必ずや人間力の備わった自分に対面することができるでしょう。

(てしま りょうた : 学長)



## 特集 私の選んだこの一冊

### 吉村 昭 「光る壁画」(新潮文庫)

田中 久隆

この小説は少し前にTVでドラマ化されたので、それをご覧になった方もあると思います。世界で初めて胃カメラを開発した日本のカメラメーカーの技術者と大学病院の医師の物語です。

胃カメラを世界で最初に作ったのは日本人だとは知っていましたが、詳しいことはこの小説を読むまでは知りませんでした。技術者である主人公の名前と彼の私生活はフィクションですが、胃カメラの開発にかかわること

は事実です。技術者と医師二人とも若く、胃カメラの開発に情熱を傾けていましたが、時代は第二次大戦直後という物資のほとんどない時期ですから、その研究開発には大変な苦労があったことがわかります。

私は今年3月まで工学部/工学研究科に在籍していました。専門は機械工学で、特に精密生産工学の教育・研究をしていましたから、今でいう「医工連携」を描いたこの小説を大変興味深く読みました。新しい機器や製品の

研究開発には難題はつきもので、それを若い技術者と医師が乗り越えていく様は、問題の難易度は違うでしょうが、大学で私たちが新しい研究課題を設定し、それにチャレンジしていくときに似ています。もちろん、この小説のように最後には成功して研究成果が出ることもあります。狙った成果がなかなか得られないことも多々あります。

さて、この小説を“私の選んだこの一冊”にあげる理由は、小説の最後の「解説」(林 富士馬 著) に書いてあります。少し長くなりますが、それを以下に紹介します。

「・・・(中略) この物語を読みながら、私は、すべて或る目的を持った仕事の成功というものは、多分に偶然、或いは奇跡(ということとは、別のことばで言えば、神々の恩寵とでも呼ぶべきものの加護)があることを改めて知った。人事をつくして天命を待つという古風なことばを思い出したりした。・・・」

私たちを取り巻く日々の生活では、いろいろな問題が起こります。私たちは、それを解

決し、乗り越えて行かなければなりません。自分自身が可能な限りの努力をしても、あるいは家族やまわりの人々の支援や協力をもってしても、難局をうまく乗り越えることができない場合や所期の目的が達成できないことがあります。むしろ、そのほうが多いかも知れません。しかし、その都度、自分のできる精一杯のことをやっておけば案外、道が開けるような気がします。

この小説に描かれている難しく特別なプロジェクトに限らず、常日頃から「人事をつくして天命を待つ」ことが大切ではないかと思うのです。

(たなか ひさたか：理事(研究担当、環境担当)・副学長)

#### 鳥取大学附属図書館の所蔵

中央図書館 新書・文庫コーナー

請求番号:081:SCB:よ-5-17

## 高橋秀実『からくり民主主義』(新潮文庫)

中島 廣光

昔から文字中毒、乱読気味で、国内外のミステリーから、時代もの、ハウツーものから、科学ものまでありとあらゆる本を手当たり次第読んできた。そんな中で、そんな見方もできたのか、そんな考えもあったのかといった、まるで目から鱗が落ちたように、その本を読む前と、読んだ後で、新しいものの見方考え方を身につけられる本に出会うことがある。そういった本を、私は「目から鱗本」と呼んでいる。

例えば、野田宣雄著「二十世紀をどう見る

か」(文春新書)。この本は平成10年に刊行された二十世紀を振り返り、二十一世紀がどうなるかを展望した本。二十世紀は人類の思想の巨大な実験場といわれ、ファシズムが破れ、共産主義が倒れた後で、ボーダレス社会という新しい状況の中で、古い「帝国」がまたぞろ復活しつつあるという話が、ロシアやドイツ、中国を例に切り口鋭く語られる。例えば、中国の政治の及ぶ範囲は限られているが、そのため生ずる境界は「国境」でなく、「辺境」であり、その向こうに別の国家の存

在を認めるものではないという、ある東洋史学者の中国の国境に関する感覚の紹介、また、統一後のドイツが「中欧」秩序の樹立に向けて、経済的にも、軍事的にも着々と増強してきており、その結果、ECの中での発言力も強力になったことは、ドイツ帝国の再来を予感させるという指摘など、そんな見方でいろいろな国の複雑な動向をもう一度、眺めてみると、これまで分からなかった事柄もなるほどと理解できる。

もう一つは、楠木 健著「ストーリーとしての競争戦略」(東洋経済新報社)。企業間の競争において、難しい理論に基づく戦略ではなく、誰が見ても面白いストーリーが書ける戦略が優れた戦略であることを理論に基づき多くの実例を挙げて解説した本である。他社が未だ進出していない市場をニッチと言う。ニッチに最初に進出すれば儲かるが、まねする企業が出てきてあっという間にその優位性は崩れてしまう。優位性が崩れず長続きする企業の具体例をあげてその理由を詳しく解説する。例えば、全国で鳥取県だけにはないスターバックスコーヒー。この企業の戦略、他のドトールなどにはない、出店や内装、コーヒーや容器に対するこだわり、客に対するコンセプトなど、詳しく解説されており、なるほど、鳥取には出店しないわけだと納得したりする。

最後に表題にあげた、高橋秀実著「からくり民主主義」という本。諫早湾干拓問題、沖縄米軍基地問題、あるいは若狭湾原発銀座の問題など日本の抱える多くの問題を取り上げている。世の中では話をわかりやすくするために、賛成か反対か、善か悪か、正しいか間違っているかに単純に二分したりする。マスコミは特にこの傾向が強く、本来、中立公正に状況を伝えなければならないのに、ストーリー的にわかりやすい方向で意識的に処理し

がちである。また、テレビの映像は全体の中の一部を切り取り、誇大に伝え、真実とは別のイメージを一般の人に植え付ける。この本の著者は、地道に現場の多くの人から取材し、マスコミの流す報道がいかにも真実を伝えていないかをあぶり出す。諫早湾の干拓でも、漁民が実は半農半漁で農民でもあったりして、漁業面では反対だが、農業面では恩恵を被ったりしているという事実、科学者も諫早湾干拓による環境影響を正しく判断できないという事実を明らかにする。沖縄の基地問題では、基地内の地主が多数いて、借地料でかなりの恩恵を受けており、恩恵を受けない人が、基地の反対派に回ったりするが、元々、土地の人は地主が多く、反対派の多くはよそ者が多いという事実。マスコミが報道しない事実が裏に沢山あり、事態を複雑にしており難しくしているが、実はそれが現実である。科学を生業としている私としては、若いときから物事を客観的に見ることの重要性を痛いほどたたき込まれてきたが、私の住む世界から見るとマスコミの作り上げる世界は何か誤魔化しやまやかしの世界と写る。マスコミの情報に惑わされず、疑ってかかること、裏に潜む事実を考えることの必要性重要性を各自に思い起こさせる貴重な一冊である。

(なかじま ひろみつ：理事(教育担当、国際交流担当)・副学長)

**鳥取大学附属図書館の所蔵**

中央図書館 新書・文庫コーナー

請求番号:081:SCB:た-86-4

医学図書館

請求番号:304:Tak

ショーペンハウアー『幸福について —人生論—』橋本文夫 訳、新潮社

萩原 寿郁

私にとってこの本は、それまでの人生経験や読書体験等を通じて漠然と「人の幸せ」について考えていたこと思っていたことを論理的に明確に分析して「人生論」として私に明示してくれたため、納得するとともに感銘を受けた一冊です。私がこの本を読んだのは社会人になってから数年後でした。今の鳥大生にとってこの本がどれだけ有用か分かりませんが、紹介する機会を与えて頂いたのでこの本を推薦したいと思います。

高校生時代は、一般的によく聞くことですが、中学生までは秀才だとか言われて地域の名門高校に入ると、廻りには自分より遙かに優秀な生徒がいて、それも部活とかに全力投入しているように見えるのに、試験の成績はいつも優秀で上位にいる。自分は帰宅部でコツコツと勉強しているのに、優秀な友人が本気になったら、直ぐに追い越されてしまう。

“ウサギとカメ”の話なんて虚構で、現実にはウサギが苦も無く勝つものだと思いながら、他方 The Beatles の Hey Jude で「It's a fool who plays it cool by making his world a little colder」と言っているのを知り、なんとなく自分を納得させたりしながら、入試勉強に没頭する。

そして大学を出る頃には現実の社会が眼の前にあるので、このような問題には目をつむるのだけど、実社会は学生の頃よりさらに、お金や社会的地位等で歴然たる差があり、試験のような客観的評価もない中で、また偶然(運)の占める割合が増える。

このような状況で、我々にとって本当に何が幸福かを考えることになる。

ショーペンハウアーの幸福論では、人間の根本規定には三つあるとしている。つまり、  
①人の在り方—人柄、人品、人物—この中には健康、力、気質、美、道徳的性格、知性等  
②人の所有物—あらゆる意味での所有物  
③人の印象の与え方—名誉と位階と名声等

人生の幸福にとって、①の我々の在り方こそ、文句なしに第一の要件であり、最も本質的に重要なものであり、これは運命(偶然)に隷属したものでなく、我々の手から奪い取られることがない。

幸せな生活を送るためには、柄に合った計画に努力を集中し、柄に応じた修行の道に励み、他のいっさいの道を避け、柄にぴったりの地位や仕事や生き方を選ぶことである。殊に若い時には、ありもしない能力を過信する危険を避けるべきである。

また、②の人の所有物である富の獲得に努力するよりも、健康の維持と能力の陶冶とを目標に努力することが賢明である。有り余る富は、我々の幸福に何ら寄与することがない。

哲学書なのでちょっと難しいかもしれませんが、是非鳥大生に一読を薦めます。

(はぎわら としふみ：理事(総務担当、財務担当、施設担当)・副学長)

鳥取大学附属図書館の所蔵

中央図書館 新書・文庫コーナー

請求番号:081: SCB: シ-6-1

所蔵資料の紹介

## 旧鳥取高等農業学校・学制頒布50周年記念図書

統括司書 中原 俊一

鳥取大学の前身である鳥取高等農業学校（大正9年(1920年)11月創設）で、大正11年(1922年)に学制頒布50周年を記念して購入された図書です。農学、植物学、本草学、養蚕、魚貝類等に関する和装本を中心とした図書約100点（一部震災等により紛失）あります。水濡れ等により保存状態のよくないものも含まれますが、本学の所蔵資料の中で特徴的なものです。

主な書名リスト

図書番号	書名 / 著者名等	出版事項
788	農稼業事 全10冊／児島如水	寛政5[1793]序
859	農家益 全7冊／大蔵永常	享和2-嘉永7 [1802-1854]
852	齋民要術 全3冊／賈思姦思	寛保4 [1744] 序
940	農家調寶記 3冊／高井氏	文化6[1809]序
754	綿圃要務／大蔵永常	天保4 [1833]
777	農業餘話抄／此君園主人	文政11 [1828]序
848	二物考／高野長英	天保7 [1836] 序
789	花譜／貝原篤信	元録11 [1698]
787	芙蓉譜／貝原篤信	正徳4[1714]
820	朝顔通 上下	文化12[1815]
800	花壇綱目 全3冊	享保元年[1716]
775	剪花翁傳 5冊	嘉永4 [1851]
840	葡萄剪定法 2冊	明治16[1886.9]
836	養蠶秘録 上中下／上垣守國	享和3[1803]
943	蠶養教諭集	安政6[1859]
835	製葛録 全／大蔵永常	弘化2 [1845]
765	製蔗辨／伊渡川范造	安政6年(1859)跋
825	藍製法密傳秘書	[書写年不明]
938	漬物早指南／小田原屋主人	[出版年不明]
766	諸油取様書	宝永5[1708]写
767	搾油濫觴	[出版年不明]
791	農具便利論 上中下／大蔵永常	文政5 [1822][序]
838	勸農固本録 上下／万尾時春	享保10 [1725] 序
817	測量集成 6冊／花井喜十郎	安政3-4 [1856-1857]
761	皇和魚譜／丹州栗本先生纂	天保9 [1838] 序
826	金魚養玩草／安達喜之	[出版年不明]
792	魚鑑 上下／武井周作	天保2 [1831]

図書番号	書名 / 著者名 等	出版事項
795	捕鯨圖識 上中下 / 藤川三溪	明治 22 [1889. 9]
779	本朝食鑑 5冊 / 大千里父	元禄 10 [1697]
798	培養秘録 / 佐藤信淵	明治 6 [1873]
845	物類品鑑 6冊 / 平賀先生	寶暦 13 序 [1763]
760	本草綱目啓蒙 27 卷 / 小野先生	文化 2 後序 [1805]
753	大和本草 20 卷 / 貝原篤信	寶永 6-正徳 5 [1709-1715]
847	物品識名友同拾遺 全 4 冊 / 水谷豊文 [補、編]	文化 6 [1809]
854	毛詩陸氏草木疏圖解 5 冊 / 淵在寛	安永 8 [1779]
751	秘傳花鏡 6 冊 / 陳扶搖	文政 12 [1829]
803	和語本草綱目 19 冊 / 法橋一抱子	元禄 11 [1698] 序
772	毛詩名物圖説 全	文化 5 [1808]
821	貝石畫譜 全	[出版年不明]
937	草木性容譜	[書写年不明]
756	備忘草木圖 2 冊 / 建部清奄	天保 4 [1833]
759	草木性譜 3 冊 / 清原重巨	文政 6 [1823] 序
819	丁丑朝顔譜	文化 15 [1818]
824	朝顔圖譜 上中下	嘉永 7 [1854]-安政 4 [1857]
763	菌譜 / 坂本浩然	天保 6 [1835]
822	櫻品 / 山崎敬義	宝暦 8 [1758]
823	梅品 上下 / 甲賀敬元	宝暦 10 [1760]
850	救荒野譜竹林圖類 上下 / 王西棲	正徳 5 [1715] 序
846	百品考 上下 / 百菘	天保 9 [1838] 跋
828	草木地錦抄	寶永 7 [1710]-享保 18 [1733]
776	怡顔齋蘭品 上下 / 松岡恕庵	明和 9 [1772]
752	古方藥品考 / 内藤尚賢剛甫	天保 13 [1842]
769	本草藥品名備考和訓鈔 6 冊 / 丹波頼理	天保 2 [1831]
941	藥効 上中下 / 吉益東洞)	[出版年不明]
802	廣益國産考 8 冊 / 大蔵永常	天保 15 [1844]



朝顔圖譜



養蠶秘録

## 本学教員著作寄贈図書（最近3年受入分）

本学教員より次の図書を寄贈していただきました。ありがとうございました。

本学教員著作寄贈図書コーナーに配架し、利用に供しています。

書名	寄贈者名（敬称略）	請求記号
現代に生きる女性：自分らしさを探す旅に出よう / 林陽子[ほか]共著	渡部昭男	367.2:Gen
Praktyczna gramatyka języka Japońskiego / Masahiro Tanimori	谷守正寛	815:Pra
世界認識 / 後藤新平著；後藤新平歿八十周年記念事業実行委員会編	門田眞知子	319.1:Sek
창조 도시 요코하마：공공디자인의 과거와 미래 / 노다 구니히로지음；정희정음김	野田邦弘	709.137:Soz
『全宋詩』口語語彙索引稿 / 塩見邦彦編	塩見邦彦	921.5:Zen
地域学入門：「つながり」をとりもどす / 柳原邦光[ほか]編著	鳥取大学地域学部地域学研究会	361.7:Chi
いのちを育むブナ林 / 成瀬廉二編集	河合谷高原の森林復元を考える会	653.7:Ino
景観編 / 上杉和央編	上杉和央	395.3:Gun:(02)
『全宋詞』口語語彙索引 / 塩見邦彦編	塩見邦彦	921.5:Zen
古事記のいなばの白ウサギ / 門田眞知子編；小林由加里、馬西由深絵	門田眞知子	164.1:Koj
ロボット手術マニュアル：da Vinci手術を始めるときに読む本 / 鳥取大学医学部附属病院低侵襲外科センター編	鳥取大学医学部附属病院	494.28:Rob
鳥取の土壌肥料と農業：これから農業を始める人のための土壌肥料入門 / 鳥取県土壌肥料研究会編	遠藤常嘉	613.5:Tot
政策学科の基礎とフィールドワークの方法 / 坂山高朗[著]	坂山高朗	301:Sei
危機的な地域社会と地域国際関係の研究と課題の方法 / 坂山高朗[著]	坂山高朗	361.7:Kik
非特定汚染源からの流出負荷量の推計手法に関する研究 / [日本水環境学会編]	公益社団法人日本水環境学会	519.4:Hit
森林保護と自然保護：この40年をふりかえって / 近藤芳五郎著	近藤芳五郎	654:Shi
褒められた人びと：表彰・栄典からみた鳥取 / 岸本覚著；鳥取県立公文書館県史編さん室編	鳥取県立公文書館	217.2:Tot:(11)
古代中世の因伯の交通 / 錦織勤著；鳥取県立公文書館県史編さん室編	鳥取県立公文書館	217.2:Tot:(12)

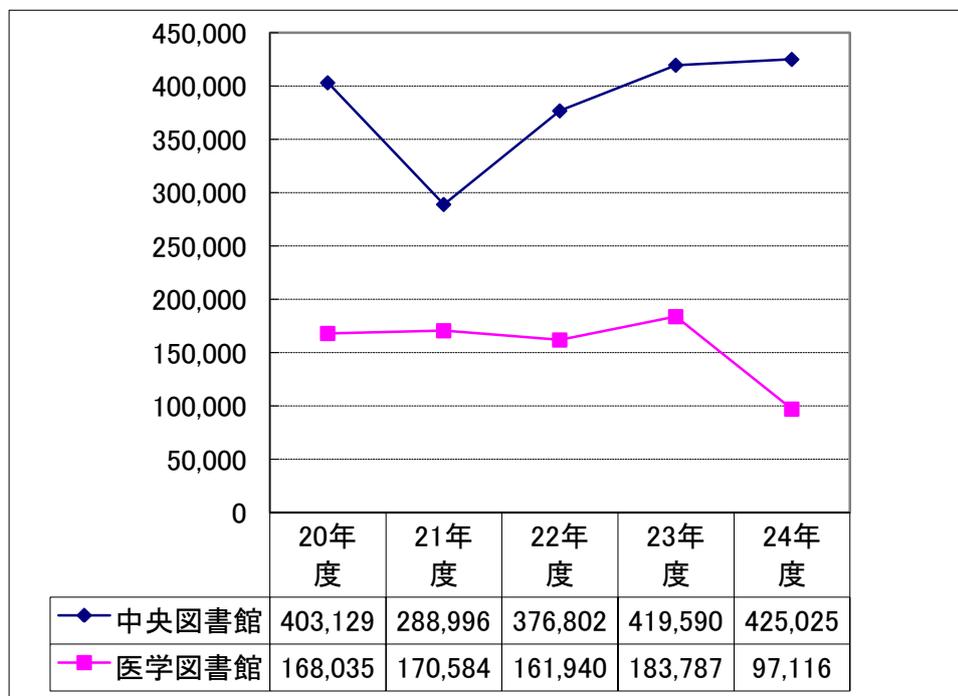
## 附属図書館利用状況（最近5カ年）

### 年度別開館日数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
中央図書館	310日	*291日	323日	343日	333日
医学図書館	326日	331日	331日	335日	*295日

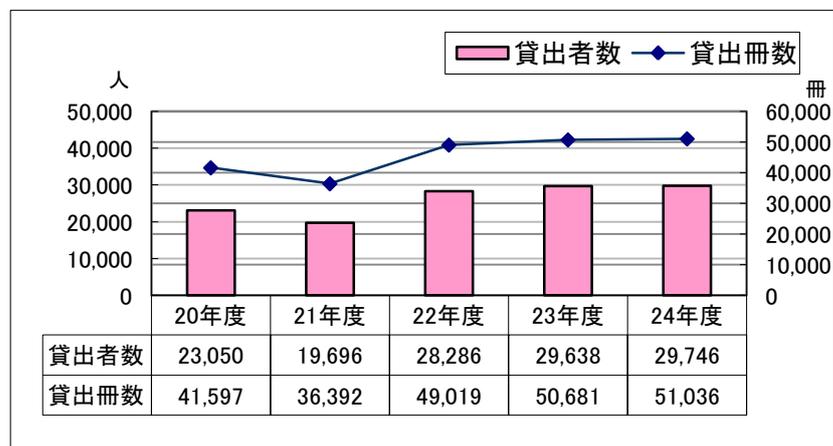
\*耐震改修のため、仮設図書館で運用

### 年度別入館者数

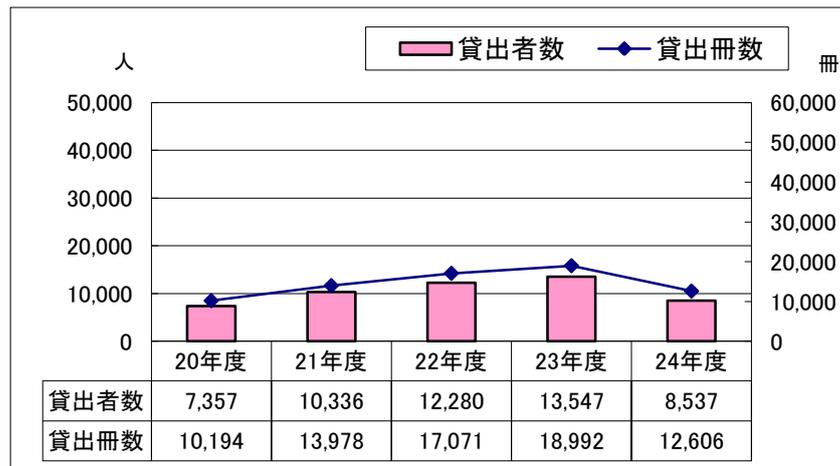


### 年度別貸出者数・冊数

#### 中央図書館



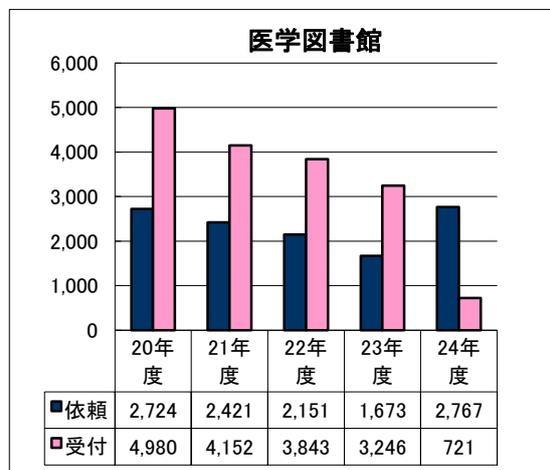
医学図書館



平成 24 年度分類別貸出冊数

分類	中央図書館		医学図書館	
	冊数	割合	冊数	割合
0 総記	6,121	12.0%	48	0.4%
1 哲学	1,797	3.5%	294	2.3%
2 歴史	1,380	2.7%	35	0.3%
3 社会科学	7,301	14.3%	296	2.3%
4 自然科学	11,784	23.1%	11,006	87.3%
5 工学	6,717	13.2%	50	0.4%
6 産業	3,614	7.1%	16	0.1%
7 芸術	2,312	4.5%	212	1.7%
8 語学	2,693	5.3%	196	1.6%
9 文学	7,317	14.3%	453	3.6%
総数	51,036		12,606	

文献複写学外依頼・受付件数



## トピックス

### 独立行政法人女性教育会館の図書パッケージ貸出サービスを始めました

中央図書館では、平成 25 年 4 月より独立行政法人女性教育会館の図書パッケージ貸出サービスを始めました。「人間関係・男女共同参画」や「いのち・男性論・貧困」「生き方・ジェンダー論・セクシュアリティ・人間関係」など、男女共同参画社会の形成を目指した女性・家族・家庭に関する様々なテーマにあった図書を借用しています。

1 つのテーマについて 4 か月間展示しています。通常の貸出と同様に利用できますのでご利用ください。



### 博士論文のインターネット公表

学位規則の改正に伴い、平成 25 年 4 月 1 日以降に博士の学位を授与された方は、原則、学位取得後 1 年以内に学位論文の全文をインターネット公表することになりました。本学においても研究成果リポジトリにより公表することとなります。



鳥取大学附属図書館報 第122号 (2013年10月)

〔編集・発行〕 国立大学法人 鳥取大学附属図書館中央図書館

〒680-8554 鳥取市湖山町南4丁目101番地 [TEL] (0857)31-6728 [FAX] (0857)28-6346

〔E-Mail〕[tosyokan-p@adm.tottori-u.ac.jp](mailto:tosyokan-p@adm.tottori-u.ac.jp) [ホームページ] <http://www.lib.tottori-u.ac.jp/>

Copyright (C) 国立大学法人 鳥取大学附属図書館 【本館報について一切の無断転載を禁止します】